

きらきら塾へいらっしゃい！！



天王みどり学園では、地域の幼稚園・保育所、認定こども園、小・中学校、高等学校等の職員を対象として、特別支援教育に関する専門性の向上と自校の解決力のアップを図ることを目指した地域研修会「きらきら塾」を開催しています。今年度は3回実施し、延べ参加者は120人を超えました。内容は、本校の加賀谷勝教育専門監の講話やそれに基づいた参加者同士の演習で(60分)、閉会後には希望者による個別相談会も実施しています。その取組について御紹介します。

第1回 8月3日(水)

「保護者の子ども理解を促す」～実際の面談をとおして

「保護者に伝える」ことが必ずしも「保護者に伝わる」ことではない現実を踏まえ、保護者の心情の捉え方や面談のポイントについて講話しました。その後、本校職員が良い面談・悪い面談の例を実演し、それを受けて感じた改善点や求められる状況づくりのポイント等についてグループディスカッションを行いました。

面談は言葉でどう伝えようかということばかり気になっていましたが、表情やしぐさも大切な点など感じた。

実際の面談の様子かどのようなものかを見ることができ、伝え方の大切さを改めて感じた。保護者の方のお話が胸に響いた。



《参加者》

第2回 8月23日(水)

「特別な支援を要する幼児の理解と対応」

問題行動を子どものSOSサインと捉え、行動の背景にある本人の特性や経験、環境や状況に着目することの大切さや、障害特性に応じた具体的な支援のポイント等について講話しました。また、具体的な事例を紹介し、その事例から予想される「子どもの困り感の背景」と「具体的な支援」についてグループディスカッションを行いました。

第3回 10月14日(金)

「子どものイライラコントロール術」

「怒り」は必ずその原因となるもう一つの感情(一次感情)を伴い、その感情(悲しい、不安、苦しい等)に気付くことで正しく気持ちを伝えるためにどうしたらよいのか考えられるようになることや、「怒りの消火法」について講話しました。また、参加者同士で最近怒ったことについて紹介し合い、その怒りを数値化する演習を行いました。

子どもがどうして怒っているか聞くだけでなく共感し、その感情を受け止めてあげる環境にのびたらしいなと感じた。怒りの原因となる一次感情に寄り添ってあげたい。



《参加者》

平成 28 年度中央地区特別支援教育研修会

8月1日(月)、「教育専門監による真夏の研修会～4人の教育専門監が、秋田の旬な「特別支援教育」の取組を語ります～」として、中央地区特別支援教育研修会を天王みどり学園・栗田支援学校共催で開催しました。会場となった秋田県教育センター自治研修所大教室には、中央地区の幼稚園・保育所・認定こども園、小学校、中学校、高等学校から130名近い参加者が集まり、熱気の溢れる1日となりました。参加者のたくさんの感想の中から、いくつかを吹き出しの形で紹介いたします。

《講話Ⅰ》

①気になる子どもの理解と具体的支援について

～自己肯定感の低下に配慮した関わり～

県立ゆり支援学校 教諭(兼)教育専門監

宮野 俊実

②障害理解授業のすすめ

～特別支援教育の動向も踏まえて～

県立支援学校天王みどり学園 教諭(兼)教育専門監

加賀谷 勝

「分かった」「できた」達成感、人からの感謝体験、受け止めてくれる安心感(中略)など、自己肯定感を高めるための具体的支援策が参考になった。

時間と場所を共有するだけでは理解が進まない。障害理解教育は学校・学級づくりの要。校内に伝えていきたい。

(気になる子どもについて)情報交換はしているが、気付きのレベルで終わることが多い。支援の方向性を探るところまでをワンセットにしていきたい。

18歳になった子どもの姿(到達点)を描き、高校を卒業して自立していくことを考えると9歳が折り返し地点…このような見方は新鮮でインパクトがあった。今必要なことを考えていきたい。

全講話を通し、特別支援教育には、教師の理解と子どもを育て関わっていく多くの人との連携が重要だと改めて感じた。



本校の加賀谷 勝専門監の特別支援教育専門監通信「チャンス・チャレンジ・チェンジ89号」でも、この研修会について触れています。本校ホームページよりアクセスできるので、是非ご覧になってください!

➡ www.midori-s.akita-pref.ed.jp

《講話Ⅱ》

③気になる生徒の具体的な実態把握と支援の探り方

～目立たなくても、実はすごく困っている生徒への対応～

県立秋田明徳館高等学校 教諭(兼)教育専門監

佐藤 玉緒

④高等学校特別支援隊の取組から

～中・高の効果的な引き継ぎの在り方～

県立栗田支援学校 教諭(兼)教育専門監

新目 敏子

●お問合せは…●

TEL : 018-870-4611

FAX : 018-870-4612

E-mail :

midori-s@akita-pref.ed.jp

教頭 : 根 義鎮

地域支援部 : 島津 憲司